近代化学の成立

1600~物理・数学の発展、1700~分析・計測技術の向上、質量や長さの標準の制定、情報化(論文雑誌の出現)、電池の発見と気体の理論の成立、など。

原子

原子: 物質を構成する、<u>化学的方法で</u>それ以上小さくできない粒子。いくつか電子をとりのぞくことは可能 だが、すべての電子をはぎとったり、原子核を壊すためには、桁違いのエネルギーが必要。

化学が扱うのは、静電相互作用(クーロンカ)による結合。

	原子核	原子	分子、金属、 イオン結晶 (固体)	水 (液体)	ドライアイス (気体)
構成要素	陽子、中性子	原子核、電子	原子	水分子	CO₂分子
束ねる力	強い相互作用	静電引力	静電引力 (化学結合)	静電引力 (水素結合)	静電引力 (vdW力*)
分解温度	$10^8 \sim 10^9 \text{K}$	$10^4 \sim 10^5 \mathrm{K}$	$10^3\sim 10^4\mathrm{K}$	373 K (100℃)	216 K (–57°C)

^{*} vdW = van der Waals.

原子の構造

原子は非常に小さな原子核と、その周辺を回る電子からなる。

原子核の直径は、原子そのものの大きさの10000分の1。

原子核は中性子と陽子がいくつか集まったもの。

陽子は正の電荷(静電気量)を帯び、電子は負の電荷を帯びている。中性子は電荷を持たない。

陽子の電荷と電子の電荷は同じ大きさなので、電子の個数と陽子の個数は等しい。

この静電引力(クーロン力)が電子を原子核の周囲に捕獲している。

質量は、陽子、中性子はほぼ同じ、1.67x10-27kg。電子は陽子の1800分の1しかない。

原子番号と質量数

陽子の個数を原子番号、陽子と中性子の個数の和を質量数。

詳しい元素記号の書き方(例、炭素: 原子番号6、質量数12)

12₆C

指数表記

物理では、非常に大きな数や小さな数を扱うので、桁数と精度を明確にするために指数表記をよく使う。

a x 10^t

1 ≤ a < 10, aの桁数が、その数値の正確さを表現する。

2.50×10¹⁰の有効数字は3けた。有効数字の桁数が違う数値同士で計算する場合は、答は桁数が少ないほうにあわせる。

相対質量

原子炭素(陽子6、中性子6)の原子質量の1/12を1 amu(原子質量単位)とする。

 12 C = 12 amu, 13 C = 13 amu, 16 O = 16 amu

原子量

自然界の元素の平均質量をamuで表したもの。

同位体がある場合は、同位体比で平均した原子質量を原子量とする。

同位体の存在比は、太陽系全域でほとんど違わない。

元素、原子、単体

元素 = 化学的に変換したり壊したりできない最小単位で、物質の基本構成要素。抽象的

「原子番号26の元素はFe(鉄)です」

原子=元素の基本単位である粒子。元素の物理的実体。

「原子は電子と原子核からできています」

単体 = 単一の原子種だけでできた物質。化合物に対比する語。

「一円玉はAIの単体だが、10円玉は化合物(合金)である」

分子

分子: 独立に存在することができる、 単一または複数の原子からなる、電 気的に中性な物質の最小単位「molecule」。共有結合した原子の一団。 例: Ar, H₂O, O₂、CO₂、C₆H₁₂O₆(糖)、DNAは2本の巨大分子。

分子量

分子量は、分子に含まれる原子の原子量の和。単位はDa(Dalton) 1 amu =

水 18 Da、CO₂ 44 Da、DNA (1億残基対) 660億 Da

アボガドロ数NA

炭素12の12gの中に含まれる原子の個数。NA=6.02×10²³ 分子量xの分子をN_A個集めるとx gになる。

同じ原子や分子NA個の集まりを、1モルと呼ぶ。炭素12の1モルの質量は 12 g。分子量18の水 1モル(=N_A個)の質量は18 g。分子量660億のDNAの1 モルの質量は??

物質のさまざまな分類

- ・単体と化合物
- ・ 混合物と純物質
- ・ 有機物と無機物

物質の状態変化



